

「か」の2題をいただき、医療マネジメント全体にわたる幅広い情報を提供していただきました。また、病院感染対策に関わるランチョンセミナーも盛況に開催されました。

昨年の第1回学術集会を上回る264名の参加者を得たことは、当地和歌山での医療マネジメントへの関心の高まりを表すものでした。来年度(主催:国立病院機構和歌山病院 西村治 院長)は更なる発展を期待しています。

(文責:国立病院機構南和歌山医療センター院長 中井國雄)

第4回京滋地方会

会長:京都第一赤十字病院名誉院長 岡 隆宏
当番世話人:社会保険京都病院院長 能見伸八郎



会場風景

日本医療マネジメント学会京滋地方会は、平成19年2月3日(土)に京都テルサで開催されました。「チームと連携による医療の安全と質の向上」をメインテーマに、山中英治先生(若草第一病院外科部長)に「NSTはこう動かす、期待されるチームの役割と実践」、藤田直久先生(京都府立医大付属病院感染対策部長)に「チームワークとコミュニケーションでつくる感染対策」、小野幸子先生(滋賀医大付属病院医療安全部)に「転倒転落事故防止にむけての取り組み」の講演を頂きました。

一般演題は医療安全、医療の質、教育、ICT、NST、褥瘡管理、クリティカルパス、電子カルテ、医療連携など79演題、ポスター展示は12題で、遠く東京からも2題発表がありました。スタッフを合わせて500人を超える参加者のもと、参加者が入りきれない会場もあり、寒い日にもかかわらず朝から夕方までホットな討論が繰り広げられました。本地方会の発表、討論により医療のマネジメント、意識の向上がはかられ、当地域の医療に多少なりとも貢献出来たと思われま。

第7回長崎地方会

当番世話人:国立病院機構長崎神経医療センター副院長 品川達夫



会場風景

平成19年2月3日(土)、日本医療マネジメント学会第7回長崎地方会学術集会を県央の東彼杵郡で開催しました。平成18年4月より新しい医療保険制度(診療報酬)、10月より介護保険制度の改定が相次いでおこなわれ、これらは医療構造の大改革の始まりで、私たちはこの渦中にいます。医療は社会にとってかけがえのないものであり、よりよい医療の提供をめざして今回のテーマを「患者の目線に立った医療の最適化」としました。これから長崎で医療の流れはどう変わるのか、

「長崎県における医療構造改革の取り組み」と題して長崎県福祉保健部長 山崎晋一郎先生の講演があり、さらに専ら医療費の削減と患者負担に集中し、経済的側面が強調されている診療報酬改定について「診療報酬改定と医療の質の向上」としてシンポジウムで取り上げ、キーノートレクチャー「DPCと医療制度改革」を産業医科大学 松田晋哉教授にお願いしました。また各病院・施設での取り組みを君野孝二医師、前中由美看護師、朝長大病院事務部および長崎在宅医療ネットの藤井卓医師に発表して頂きました。医療制度改革と同時に医療の現場においても、イノベーション:変革が求められています。「BSCで看護部をどう変革したか」と題して聖路加国際病院副院長・看護部長 佐藤エキ子先生の講演で、顧客(患者)の視点を第一に組み立てるバランススコアカードとイノベーションの展開をお話いただきました。

一般演題として医療安全、クリティカルパス、医療連携およびNST、DPCのセッションで口演17題およびクリティカルパス展示45題の発表で、これらは患者の目線に立った医療のキーワードであり、それぞれの医療現場で創意工夫による取り組みについての発表で、いずれも学会参加者よりの活発な質疑応答がありました。310名の参加者があり、会場でのアンケートでは、すべての講演、シンポジウムおよび口演に非常に参考になったとの回答を多く頂きました。長崎の地での医療マネジメントの現在と未来のあり方をとともに考え論じる場、明日につなぐ地方会として開催できたのではないかと思います。

最後に学術集会開催に当たり、協力いただいた学会本部および地方会世話人の皆様、さらに国立病院機構長崎神経医療センターの職員に心より感謝申します。次回は、国立病院機構長崎医療センター副院長宮下光世先生が当番世話人で平成20年2月2日(土)にシーハット大村で開催されます。

分科会開催案内

平成19年度 第1回

地域連携クリティカルパス分科会

テーマ:地域連携クリティカルパスの効果的活用を目指して

我が国の医療は医療機関の機能分化と連携による医療へと急速に変化しており、医療連携の質向上が大きな課題となっています。平成18年4月の診療報酬改定に於いて、大腿骨頸部骨折に対してのみ地域連携クリティカルパス加算が新設されましたが、その他の疾患に対しても地域連携クリティカルパスの活用が期待されています。本分科会では、大腿骨頸部骨折のみでなく、脳卒中、がん、循環器疾患等の地域連携クリティカルパスの現状報告と取り組み方についての討論を行います。多数のご参加をお待ち致しております。

・日 時 平成19年5月12日(土) 12:30～16:30

・会 場 日本医科大学4号館4階 大講堂

(東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム

12:30 受付開始

総合司会:日本医科大学付属病院医療連携室 加島直人